

長野県
SAKAEMURA
栄村

2013年
同じ「栄」を縁に、
長年交流を続け、
友好交流協定
を締結



栄区民芸術祭「器楽の祭典」
にて「栄太鼓」を披露

青森県

NANBUCHO

南部町



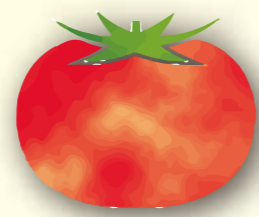
2015年 職員人事交流を
きっかけに友好交流協定
を締結



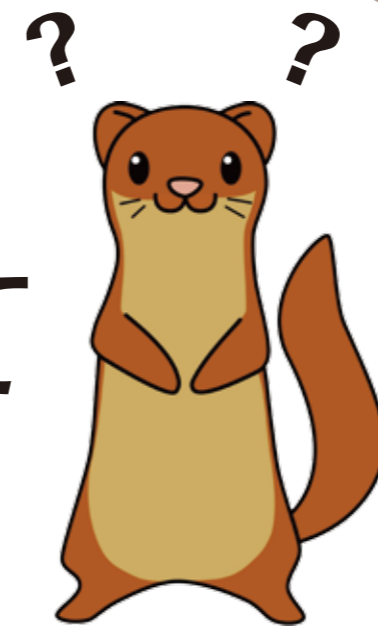
栄区民まつり
ステージにて
「えんぶり」を披露



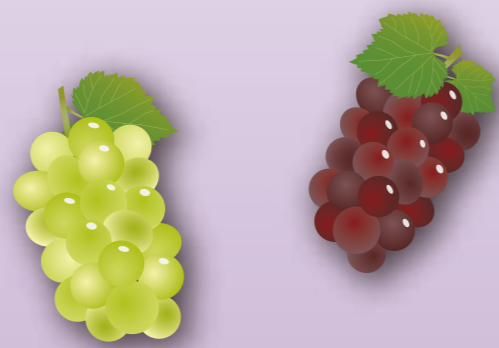
栄区民まつりや、
新大船商店街の朝市にて、
物産展を実施



栄区の
友好交流都市って
知っていますか



特産品の食用菊を、
区内施設での栽培や、
試食会でPR



山形県
TAKAHATAMACHI
高畠町



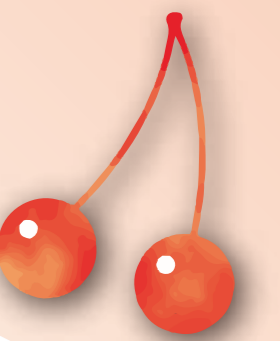
2017年 職員人事交流を
きっかけに友好交流宣言



アオソラマルシェや
栄区民まつりにて
物産展を実施

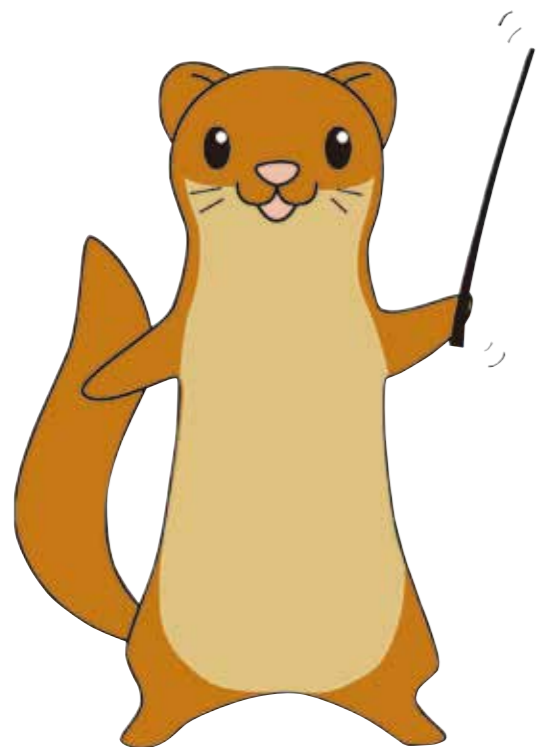


高畠町文化ホールにて
栄区内団体「劇団ぽかぽか」
が演劇を公演



友好交流都市とは...?

栄区は、長野県栄村、青森県南部町、山形県高畠町と友好交流関係にあります。
栄区と3都市それぞれとの交流や協力関係が深まるよう、行政や住民が主体となった
さまざまな取組を行っています。



みなさんも、友好交流都市を知って
栄村、南部町、高畠町に行ってみませんか？

各都市との交流に関する問い合わせは栄区地域振興課へ

心豊かな
やすらぐ村



人口:1,828人(平成31年4月現在)
面積:271.66km²(栄区の約15倍)
村花:カタクリ 村木:桐
村鳥:フタバウソウ

布岩

友好交流都市

長野県

栄村

SAKAEMURA



温泉



冬の天池



祭太鼓



長者林



猫つぐら



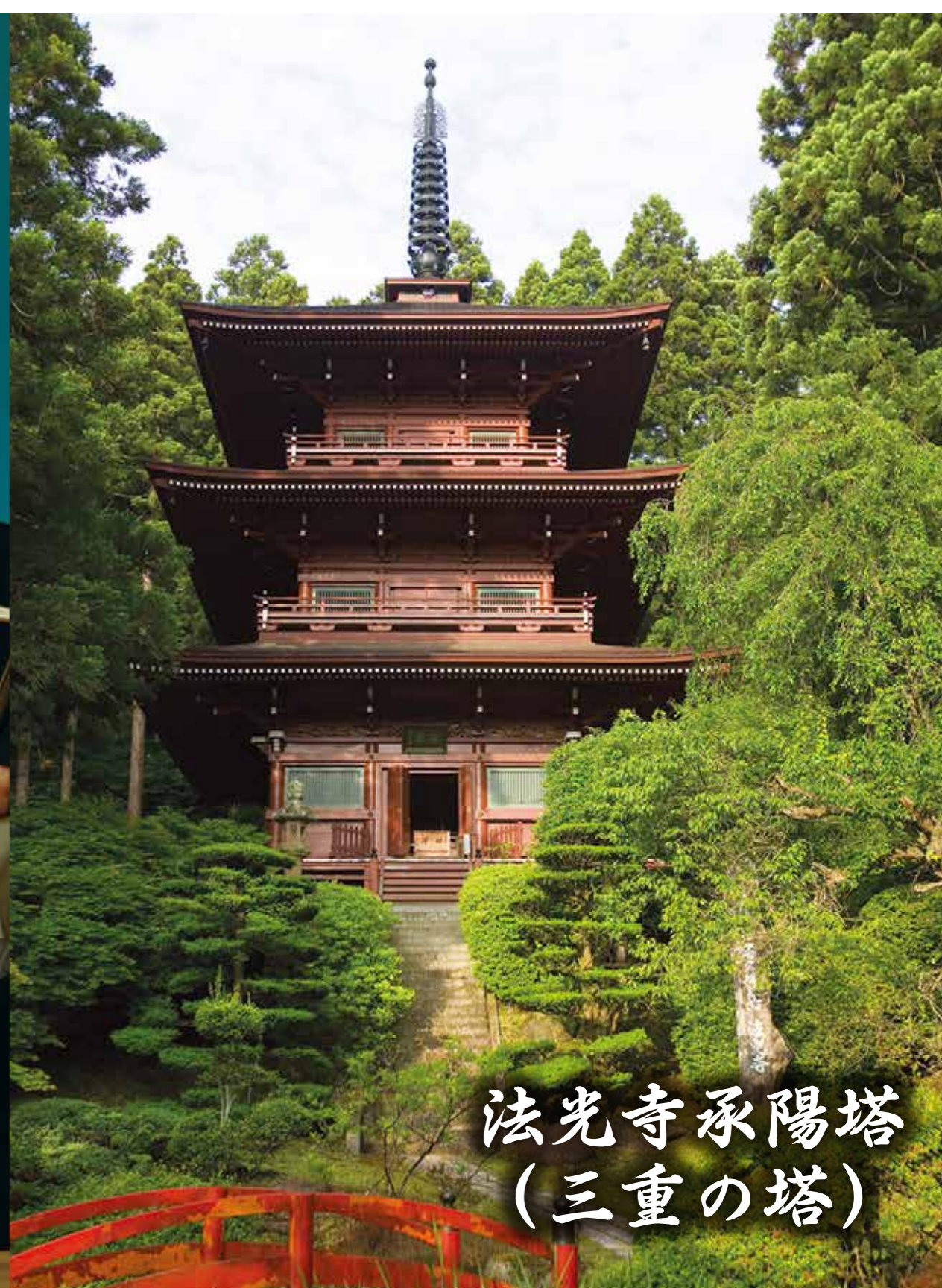
夏の100km
サイクリング



苗場山

栄村との交流についてはコチラ
(横浜市栄区ホームページ)





友好交流都市
**青森県
南部町**

NANBUCHO



フルーツの香り漂う感動のまち



名久井岳と馬淵川

南部町との交流についてはコチラ
(横浜市栄区ホームページ)





南部町に寄って美味しいりんごを買いました!

栄区民インタビュー

お名前: **梅川 玉機 さん**

ご紹介: 栄区在住。地域の緑化運動を行う湘南桂台みどりの会のメンバーとして活動中。また、石仏の調査

とマップ作りにも携わり、歴史分野でも活躍中

知ったきっかけは食用菊の栽培

—南部町に行こうと思ったきっかけを教えてください。

元々南部町は正直知らなかったのですが、2018年に南部町の食用菊の苗を桂台地域ケアプラザと朋へいただきまして、それを植えるのを手伝ったのが知ったきっかけです。食用菊は食べたことは無かったので、どういものなのか、産地も見てみたいと思いました。



▲ 食用菊栽培の様子 (写真は、ともガーデン)

その後、岩手県の姫神山へ趣味の山登りに行ったのですが、天候が悪く、もう一つの山に登る予定が無くなってしまいました。そこで、レンタカーを借りていたので、気になっていた南部町へ足を伸ばしてみましたということです。

市場に行って珍しいりんごや干し菊を買いました

—南部町では何をされたんですか?

まずは役場を訪ねました。すると、栄区民が来たのは初めてだったということで非常に歓迎していただきました。



▲ 南部町役場で記念撮影

役場の方には、町営の市場や物産店を紹介してもらいまして、実際に、南部町営地方卸売市場に行って珍しいりんごを買ったり、干し菊も買いました。あとはのんびりした町並みを眺めて……。正直、行っただけなので、現地の方との交流みたいなものは無かったのですが、ぽつぽつと集落があり、いずれ、そのあたりの文化は見てみたいなと思いました。

のどかで、自然豊かな町。

非常に親しみを持ちました

—実際行って見てどんな印象を持ちましたか?

寒村的なイメージだったんですが、実際には大きな集落がいくつもあったので、多分、町村合併してできた町じゃないかなと思いますね。*

非常にのどかででしたし、栄区には無い、自然の豊かな良い町であると思います。行ったことで非常に親しみを持ちましたね。イトーヨーカドー（桂台店）で、さくらんぼの時期に南部町の物産展をやると思うので、その際にはまた買いたいと思いますし、以前は南部町りんご農家の方が来ていて、紹介してもらってりんごを田舎に送ったり自分で

買ったり。美味しいですからね、南部町のりんごは。

※2006年に南部町、名川町、福地村が合併して、南部町が誕生しました。



▲ 南部町では、りんごのほかにさくらんぼやもも等豊富な種類の果物を栽培しています。

栄区で鍋祭りも面白いかも。湘南桂台の芋煮会とも併せて

—これからの南部町とどのような交流があったらいいと思いますか?

ホームステイや農業体験とかができたら面白いんじゃないかなと思います。また、向こうのりんご園の一部を果樹オーナー制度のように買って、管理はしてもらいつつ、収穫だけ行うというのはどうでしょう。

あとは、例えば、高円寺で阿波踊りをやっているように、栄区で、南部町のせんべい汁などの鍋を持ってきて、鍋祭りをやってみるのも面白いかもしれないです。こっこのほうが有名になったりして。

南部町笑顔あふれる明るいコミュニケーション推進条例(通称:鍋条例)について

南部町では、毎月22日(フーフー言いながら食べることの語呂合わせ)を「鍋の日」と定め、町民は鍋を囲むことで家族や友人、仲間の絆の大切さ、コミュニケーションの大切さを再確認し、活発なコミュニケーションを図るために、鍋料理を楽しく食べるためのアイデアを創出します。



◀ 鍋条例キャラクター「なべまる」

—南部町は毎月22日が鍋の日(上梓参照)ですから、それにちなんでこちらでも鍋を食べるのも面白いですね。湘南桂台の芋煮会とも併せてね(笑)

時間がゆったり流れているように感じられる町

—南部町を一言で言うとどんな町ですか?

本当に素朴な町で、時間がゆったり流れているように感じられる町です。

もう一度行くとしたら、もう少しゆっくりまわって、南部藩発祥の地ですから、そういう歴史的な部分も見てみたいですね。



◀ りんご園での記念撮影
南部町のりんごは歯ごたえが良く、大きくておいしいと絶賛でした。





まほろばの緑道



安久津八幡神社の三重塔



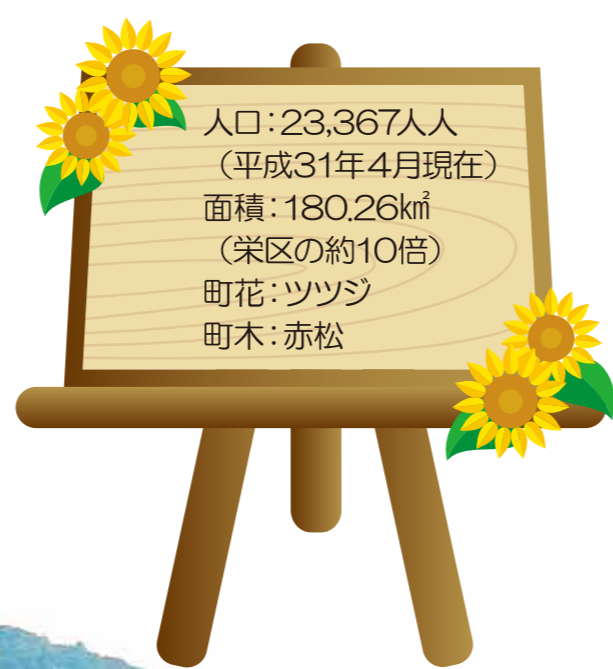
まほろば冬咲きぼたんまつり

まほろばの里

友好交流都市

TAKAHATAMACHI

山形県 高畠町



田園風景



民踊パレード



龍みこし



クラシックカー
レビュー

高畠町との交流についてはコチラ
(横浜市栄区ホームページ)



